




LPAの会では、生命保険・社会保障・年金の基礎を中心に組合員向けの学習会などを企画・運営しています。

知っておいてほしいカードの基礎知識（クレジットカード・デビットカード・電子マネー）

ハーツでも今年8月から様々なカードが使えるようになりました。みなさんは、どんなカードを何枚持っているか把握されていますか？高額な買物、インターネットショッピング、高速道路のETCなど様々な場面でカードが利用されていますが、現金と違って、手元にお金を持っていない状態での買物になるので、後で明細が届いたときに請求額に驚くなんてこともあられるかもしれません。カードを正しく理解して、賢く利用していきましょう。

◆カードの種類◆

	支払方法	代表的なもの	特徴
クレジットカード	後払い	  VISA JCB   Master DC	事前に信用調査の上、登録が必要です。後払いのため、その時にお金が無くても利用可能です。海外での利用などにも便利です。
デビットカード	即時決裁	銀行カード VISAデビット	お店で買物と同時に、銀行口座の残高から引き落とされます。銀行に残高が無いと利用できません。VISAなどのお店で利用できるカードも登場。
電子マネー（ICカード）	先払い	  Suica PASMO   ICOCA iD  楽天Edy	先にお金を入れておいて、現金の代わりに使うカードです。様々な種類のICカードがあります。おサイフケータイもこの分類に入ります。

一般的に、クレジットの月々の支払上限目安は収入の20～25%とされています。

◆リボ払いに注意◆

リボ払い（リボルビング払い）は、クレジットカードの支払方法の一つで、支払残高に応じ毎月決められた額を支払う方法です。高額の買物をして、毎月の支払額が一定のため、今の生活費への影響が少ないと考えがちですが①高い手数料の支払い②買いつことで支払い期間の長期化③どの商品の支払いが終わったのかわかりづらい④借金という意識がうすいなど、注意しなければならぬ面も多くあります。リボ払いを考えると、これはこれらのデメリットも十分納得したうえで利用しましょう。

●リボ払いで買物をした場合の例（年率15%・月支払5,000円定額）

利用金額	5万円	10万円	20万円
支払回数	10回	20回	40回
手数料	3,328円	12,917円	50,871円
合計支払金額	53,328円	112,917円	250,871円

※年率はカード会社や支払いコースによって異なります。

◆カードを上手に使うには◆

カードは現金と違って、手元にお金が無くても買物ができます。でも、いつかはお金を支払わなくてはなりません。家計簿をつけている場合、クレジットカードでの買物は、「支払日」ではなく「買物をした日」で管理することをおすすめします。残高が残っていると、まだ買物ができると錯覚してしまいがちですが、払いのカードは「借金」をしているのと同じことです。また、複数のカードを使っていると、どれだけ使ったか、どれだけ引落しがあるのか、把握が難しくなることもあります。カードは、できるだけ減らし、自身が管理できる枚数で使用するようしましょう。また、クレジットの管理が不安な方は、電子マネーも同様にショッピングできるお店が増えてきていますので、こちらのカードの方が管理しやすいでしょう。カードを上手に利用して、計画的に買物したいですね。

LPAの会
ライフプランアドバイザー

